

●世界の主な地震

平成 24 年（2012 年）11 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

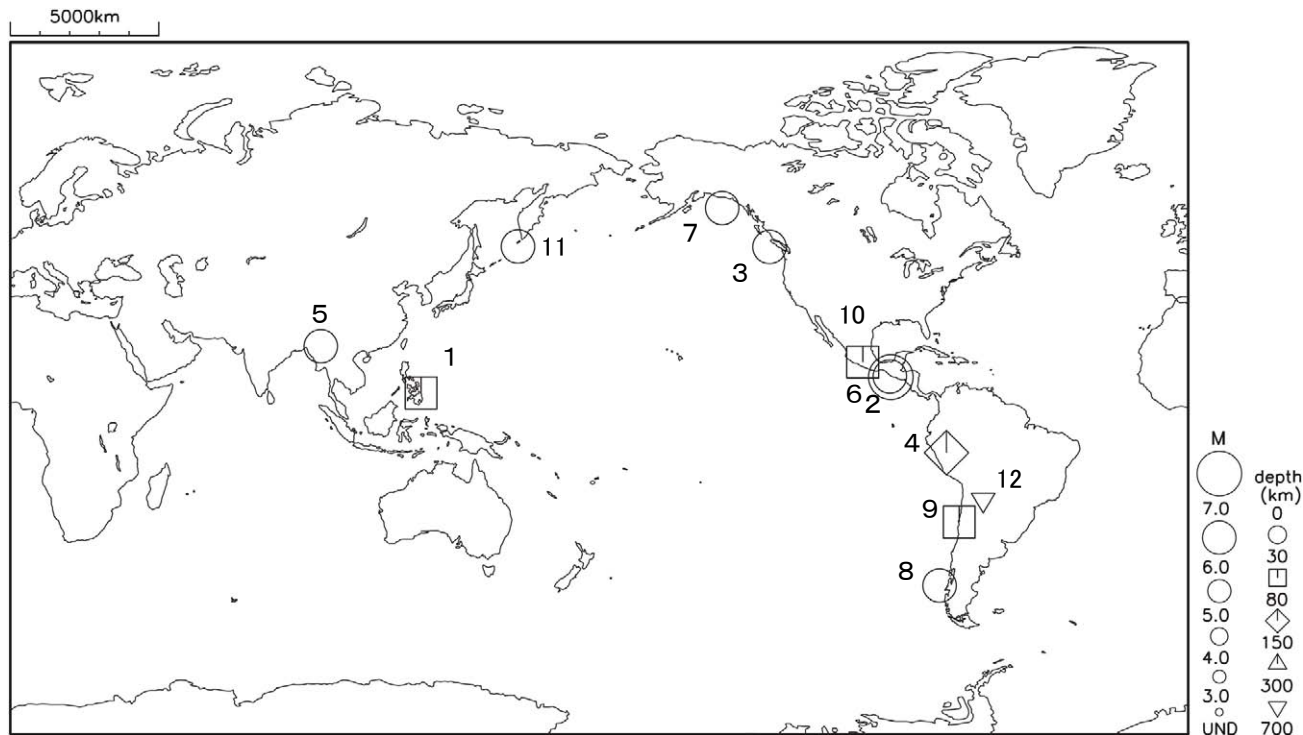


図 1 平成 24 年（2012 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。
** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
***: マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 24 年（2012 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	印 洋	遠 地
1	11月03日03時17分	N 9° 13.4'	E126° 12.1'	38			6.1	フィリピン諸島、ミンダナオ				
2	11月08日01時35分	N13° 58.8'	W91° 52.6'	24	6.6	7.4	(7.4)	グアテマラ沿岸	死者48人以上、行方不明者100人、 負傷者155人など			○
3	11月08日11時01分	N49° 11.1'	W 128° 31.6'	17			6.1	カナダ、バンクーバー島				
4	11月10日23時57分	S 8° 51.9'	W 75° 03.9'	129	5.9		6.0	ペルー中部				
5	11月11日10時12分	N23° 00.3'	E 95° 53.1'	14			(6.8)	ミャンマー	死者26人以上、負傷者230人、家屋 全壊251棟など		○	○
6	11月12日07時15分	N14° 09.8'	W 92° 10.0'	27			6.4	メキシコ、チアパス州沿岸				
7	11月13日05時42分	N57° 47.8'	W142° 48.5'	9	6.0	6.0	6.3	アラスカ湾				
8	11月13日13時31分	S45° 44.6'	W 77° 08.5'	10			6.1	チリ南部沖				
9	11月15日04時02分	S29° 07.3'	W 71° 12.2'	59	6.2		6.2	チリ中部沿岸				
10	11月15日18時20分	N18° 24.4'	W100° 22.3'	61			6.1	メキシコ、ゲレロ州				
11	11月17日03時12分	N49° 16.3'	E155° 28.5'	29			6.5	千島列島		○		
12	11月22日22時07分	S22° 47.1'	W 63° 58.0'	463	5.6		6.0	アルゼンチン、サルタ州				

・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（平成 24 年 12 月 3 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄に括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。
・ 震源時は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9 時間〕である。
・ 「北西」、「印洋」各欄の○印はそれぞれ、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）、及び、インド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報（TWI）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
・ 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

11月8日 グアテマラ沿岸の地震

2012年11月8日01時35分（日本時間）に、グアテマラ沿岸の深さ24kmでMw7.4の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、ココスプレートと北米プレートの境界で発生した。

この地震について、気象庁は遠地地震に関する情報（日本国内向け）を同日8日01時57分（日本への津波の有無について調査中）と03時40分（この地震による日本への津波の影響はありません）に発表した。なお、国内での津波の観測はなかった。

今回の地震により、死者48人以上、行方不明者100人、負傷者155人などの被害を生じた（12月3日現在）。また、メキシコのサリナクルスで35cmの津波を観測した（12月3日現在、米国海洋大気庁[NOAA]による）。

1970年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM7.0以上の地震がしばしば発生している。1976年2月4日にはグアテマラでMw7.5の地震が発生し、死者22,870人などの被害が生じた。

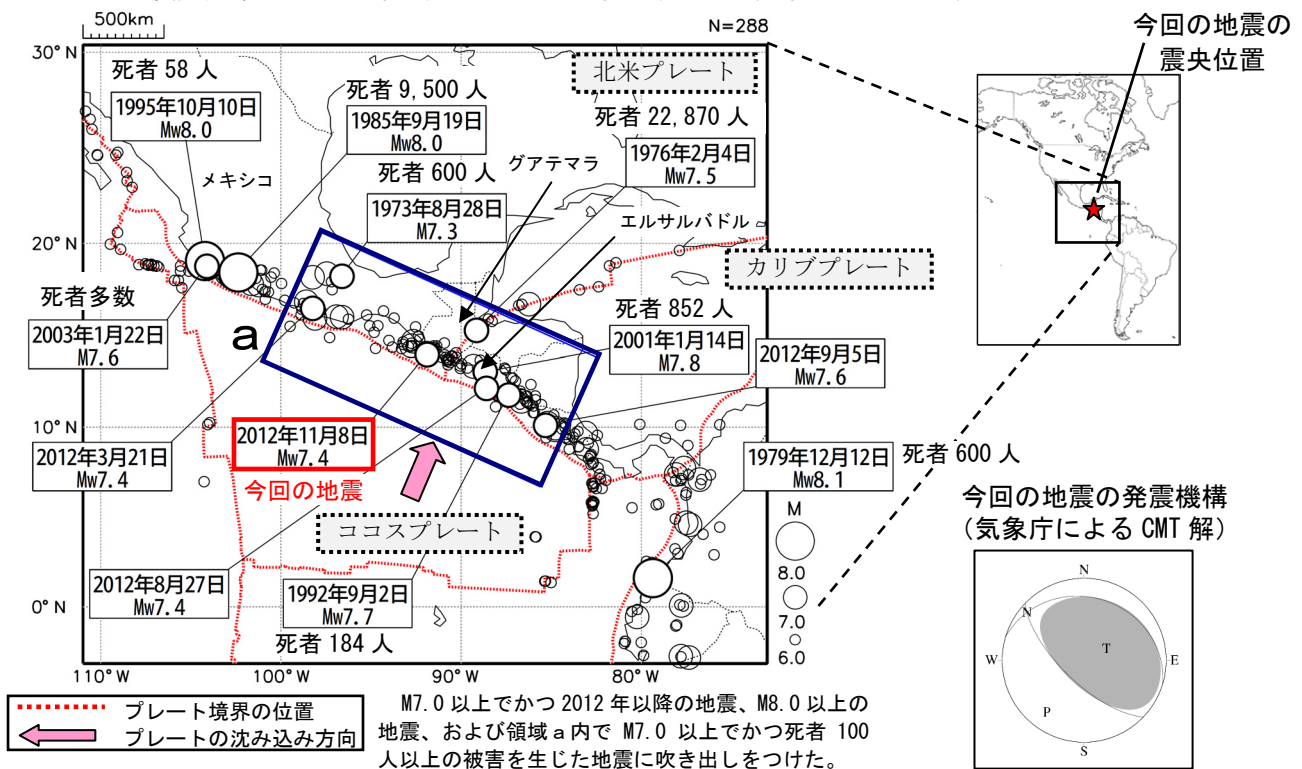
※本資料中、2012年3月21日、2012年8月27日、2012年9月5日と2012年11月8日の地震のMwは気象庁による。

その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。

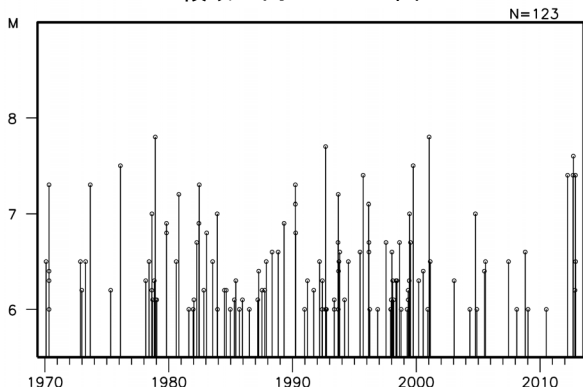
被害は、2009年12月31日までは宇津および国際地震工学センターによる「宇津の世界の被害地震の表」により、2010年1月1日以降は米国地質調査所（USGS）の資料より引用。

プレート境界の位置は、Bird (2003) *より引用。

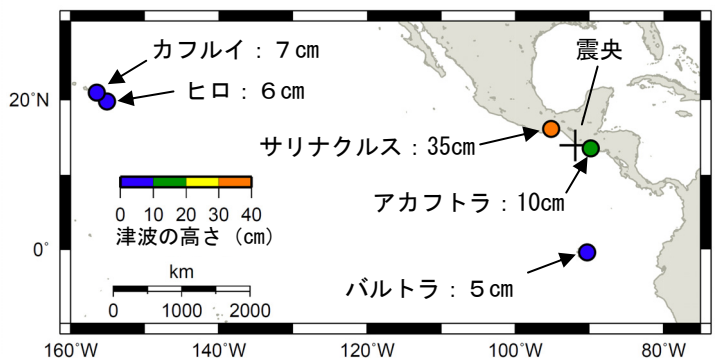
震央分布図（1970年1月1日～2012年11月30日、深さ0～100km、M $\geq$ 6.0）



領域a内のM-T図



海外の津波観測施設で観測された津波の最大の高さ



*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

11月11日 ミャンマーの地震

2012年11月11日10時12分（日本時間）に、ミャンマーでMw6.8の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。今回の地震により、死者26人以上、負傷者230人、家屋全壊251棟などの被害を生じた（12月3日現在）。その後、余震活動は継続しているものの、その数は減少している。

気象庁は、この地震により、同日11日10時40分に遠地震に関する情報（日本国内向け、この地震による津波の心配はありません）を発表した。

1988年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM7.0前後の地震がしばしば発生している。1988年11月6日にミャンマーで発生したMw7.0の地震により、死者748人などの被害を生じた。

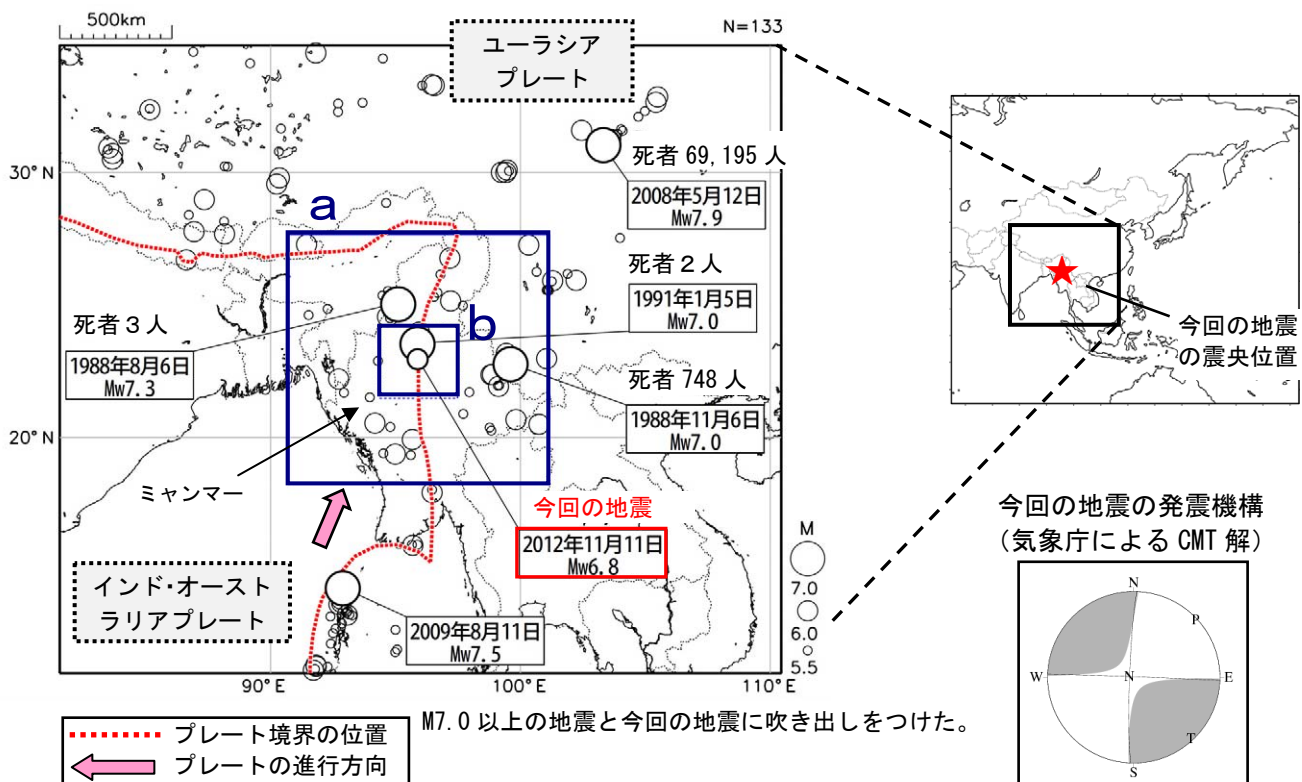
※本資料中、2008年5月12日、2009年8月11日と2012年11月11日の地震のMwは気象庁による。

その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。

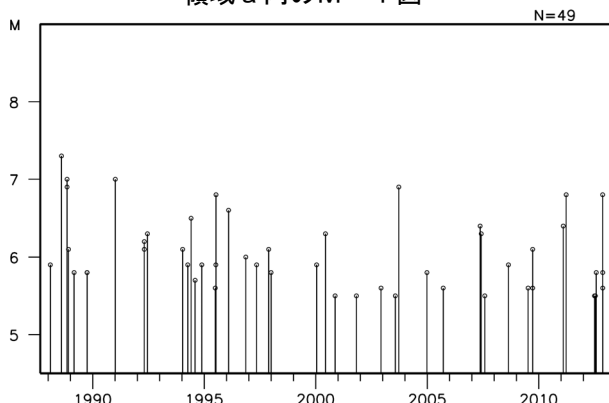
被害は、2009年12月31日までは宇津および国際地震工学センターによる「宇津の世界の被害地震の表」により、2010年1月1日以降は米国地質調査所（USGS）の資料より引用。

プレート境界の位置は、Bird (2003) *より引用。

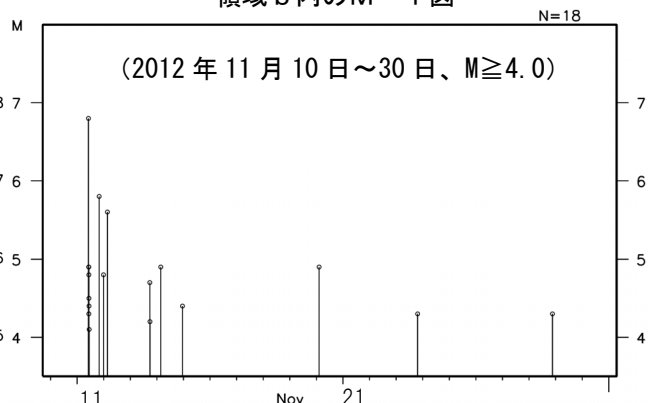
震央分布図（1988年1月1日～2012年11月30日、深さ0～100 km、M≥5.5）



領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



* 参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.